

【議案第 1 号】

令和 3 年度 N P O 法人北海道遺産協議会事業報告

(1) 人材育成

1) 「地域連携事業」

①北海道ヘリテージラボ

a. ヘリテージラボ・オンライン (1 月、2 月)

2018 年度から北海道遺産関係者の学び合いの場として「ヘリテージラボ」を実施。2021 年度は zoom (オンライン会議システム) を活用した「ヘリテージラボ・オンライン」を計 2 回開催した。

<第 1 回>

実施日時：2022 年 1 月 27 日 (木) 18:00～19:30

テーマ：「よそ者」との協働による地域遺産保全

内 容：元々は「よそ者」として地域に関わりつつ、現在はそれぞれの地域の遺産保全のキーパーソンとなった方々をお迎えし、地域外の関係者との協働について考えた。(共催：日本学術振興会科研費若手研究「文化遺産観光における刊行者のパフォーマンスと地域社会との相互作用についての研究」)

ゲスト：井上博登さん (赤平市教育委員会学芸員)

前畑洋平さん (NPO 法人 j-heritage 総理事)

前畑温子さん (NPO 法人 j-heritage 戦略企画室長)

進行：平井健文さん (京都橘大学経済学部専任講師)

参加人数：約 40 名

<第 2 回>

実施日時：2022 年 2 月 18 日 (金) 19:00～21:00

テーマ：「北海道の北前船遺産」(道北・道央編) ～北前船遺産の特徴と活用～

内 容：道北・道央の自治体の学芸員の方から各地域に残る北前船の遺産についてご紹介いただくとともに、遺産を活用した取組を展開している企業の方に、その魅力や活用方法などをお聞きした。全国各地の参加者からの質疑応答などを交えながら今後の保存活用のあり方等についての意見交換を行った。(共催：小樽商科大学令和 3 年度グローバルプロジェクト「日本遺産を活用した小樽の with コロナ対応型広域観光実証事業」)

ゲスト：高島 孝宗さん (オホーツクミュージアムえさし館長・学芸員)

坂本 恵衣さん (いしかり砂丘の風資料館・学芸員)

高橋 琢磨さん (うながぷらす株式会社・代表取締役)

コーディネーター 高野宏康さん (小樽商科大学)

参加人数：約 70 名

＜第1回ヘリテージラボ＞

【北海道ヘリテージラボ】
オープンラボ・オンライン

「よそ者」との
協働による地域遺産保全

1月27日 木 18:00-19:30

オンライン開催 (Zoom利用・参加無料)

地方での人口減少は、地域遺産保全の担い手の不足に直結します。関係人口という言葉も広まる昨今、地域外の関係者＝「よそ者」との協働はより重要な課題になっています。今回は、元々は「よそ者」として地域に関わりつつ、現在はそれぞれの地域の遺産保全のキーパーソンとなった方々をお迎えして、この課題について考えます。

■ プログラム

18:00 主催者挨拶・趣旨説明
18:10 講演：「よそ者」との協働による遺産保全の現場
19:00 ディスカッション：「よそ者」との協働の課題と可能性
19:25 クロージング

■ 講師・コーディネーター

井上博登氏 (市庁教育委員会社会教育課文化財保護課 学芸員 (主催))
前畑洋平氏 (NPO法人HeritageLab、地域遺産協力推進アドバイザー)
前畑温子氏 (NPO法人HeritageLab、地域遺産協力推進アドバイザー)
コーディネーター：平井健文氏 (京都府立大学経済学部准教授)

■ 申込方法

- Googleフォームよりお申し込みください (QRコードも可)
<https://forms.gle/5W9wnt38LWofUJA>
- 締切：1月25日(火) 定員：50名
- 締切後、申込を頂いた方にZoomに関する情報をお送りします

【主催】NPO法人北海道遺産協議会
事務局所在地：011-221-2333 メール：hokkaido.heritage@npo.or.jp
【共催】日本学術振興会科学研究費助成事業「文化遺産観光における観光客のバフォーマンスと地域社会との相互関係についての研究」(研究代表者：平井健文)

＜第2回ヘリテージラボ＞

北海道ヘリテージラボ・オープンラボ・オンライン2022
北海道の北前船遺産【道北・道央編】～北前船遺産の特徴と活用～

様々な立場で各地の地域遺産の保全活用に関わる方々のお話を聞く学びの場である「ヘリテージラボ・オープンラボ」。昨年3月に続き、今年度も「北海道の北前船遺産」をテーマに、各地で北前船遺産の調査研究・活用に関わられている3人の方にお話を伺います (zoomによるオンライン開催、参加無料)

日時：2022年2月18日 (金) 19:00～21:00

講師：高島 季奈さん (オホーツクミュージアムえさし館長・学芸員)
坂本 恵衣さん (いしかり砂丘の風資料館・学芸員)
高橋 琢嗣さん (つながらず株式会社・代表取締役)

進行：高野 宏康さん (小樽商科大学グローバル戦略推進センター)

【申込方法】
Googleフォームよりお申し込みください (先着50名) *申込※切：2/17
URL <https://forms.gle/ze8Lwxx95tPnm4Vf6>

■主催：NPO法人北海道遺産協議会 ■協力：北海道、一般社団法人北前船交通拡大機構
■共催：小樽商科大学令和3年度グローバルプロジェクト
「日本遺産を活用した小樽のwithコロナ対応型地域観光実証事業」(研究代表：高野宏康)
事務局連絡先 E-mail info@hokkaidoisan.org

b. 北海道遺産食プロジェクト (10月～3月)

「食」をキーワードに新たな角度から北海道遺産の魅力や価値を発信する取組として、公式 facebook ページや Instagram に北海道遺産にまつわる食のストーリーを掲載した。原稿の制作にあたっては、遺産地域の方々に原稿確認・写真提供等のご協力をいただき、また、情報発信では、北海道庁が食のブランド力向上に向けて定めたキャッチコピー「食絶景北海道」の活用や、道地域政策課のご協力で、道庁ブログ「超!!旬ほっかいどう」に掲載いただいた。

北海道遺産食プロジェクト Facebook ページのスクリーンショット。投稿内容は、北海道遺産食プロジェクトの紹介と、食の写真を掲載しています。投稿のコメント数は172件、いいね数は195件です。

北海道遺産食プロジェクト Instagram ページのスクリーンショット。投稿内容は、北海道遺産食プロジェクトの紹介と、食の写真を掲載しています。投稿のコメント数は1,601件、いいね数は307件です。

北海道遺産食プロジェクト Facebook ページのスクリーンショット。投稿内容は、北海道遺産食プロジェクトの紹介と、食の写真を掲載しています。投稿のコメント数は1,031件、いいね数は145件です。

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

予定していたスタンプラリーは、新型コロナウイルス等の状況により実施できなかった。また、新たな取組みとして予定していた、研究者のデジタルアーカイブ構築研究への協力についても実施できなかった。

d. 持続可能な支援の仕組み検討チーム

将来にわたって持続的に北海道遺産所在地域を支援していくために必要な方策について検討を行う。令和3年度は今後のテーマについての検討を行った（勉強会なども予定していたが調整がつかず未開催）。

（2）遺産の価値向上・発信

1）「選定事業 20 周年記念事業の実施」（通年）

①10 月 13 日（どーいさんの日）の制定

20 周年を記念して、今年度から、当協議会で 10 月 13 日を「道遺産（どーいさん）の日」と位置づけ、北海道遺産の PR を行った。今後も活用していく予定。

②20 周年ロゴの作成

20 周年事業期間中に使用するロゴを作成し、期間中に実施したイベント等の広報物等に活用して、20 周年を広く PR した。

<20 周年ロゴ>



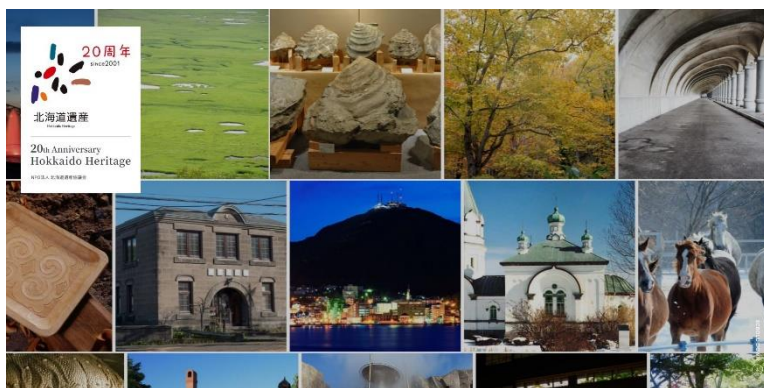
<地方創生広報誌「創る」（発行：北海道総合政策部地域創生局地域戦略課）への掲載>



③20 周年特設 WEB ページの作成

既存 WEB ページ内に 20 周年特設ページを作成し、北海道遺産のこれまでの活動や担い手インタビューなどを掲載し、第 4 回選定に申請を予定している団体等の機運醸成を図った。

<20 周年特設 WEB ページ>



④北海道遺産だより 20 周年特別号（タブロイド紙）発行

北海道遺産構想のこれまでのあゆみや、各地の担い手の活動をクローズアップして、次世代に伝えたい「北海道遺産」運動はどのような想いを込めて継続されているのかを誌面にした情報誌を作成した。「北海道遺産だより」の 20 周年特別号として制作し、タブロイド判 8 ページ構成を 2 号発行した。

<「北海道遺産だより」20 周年特別号 vol.1>



<「北海道遺産だより」20 周年特別号 vol.2>



⑤既存 WEB ページに担い手の姿が見える情報の充実

担い手・関係者にアンケートを行い現在の地域の情報を収集して、既存 WEB ページの情報更新と担い手からの地域情報やおすすめポイントを掲載した。

2)「第4回選定の実施」(10月13日～2022年度継続)

2021年度から「道遺産(どーいさん)の日」と位置付けた10月13日に選定募集をスタートし、2022年2月28日まで申請を受け付けた。今後は、2022年10月13日の公表を予定して、幅広い専門家・有識者に委員としてご協力いただき選定を行う。

①第4回選定WGの開催

第4回選定に関わる全体スケジュールの統括と、申請団体の調査等を行うワーキンググループを設置し、候補募集時、申請締切後等に会議を実施した。

②第4回選定候補募集の実施

第4回選定募集パンフレットと特設 WEB サイトページを作成し、選定の機会を広く PR した。1月24日には第4回選定解説会を行い、地域団体等の応募を促進する機会を設けた。

- ・パンフレット・ポスター配布先：北海道遺産協議会会員、担い手地域、イオン北海道グループ店舗(協力・イオン北海道)、道内市町村(協力・道庁地域政策課)

<第4回選定募集パンフレット>



▼1月24日「第4回選定解説会」



③SNS 等を活用した PR

第 4 回選定募集から選定に至るまでの機運醸成と様々な年代層への北海道遺産の周知のため、公式 twitter を活用して、北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院の学生にご協力いただき情報発信した。

▼学生さんによる twitter での発信



3)「北海道遺産交流会議の開催」(10月26日)

協議会設立 20 周年を祝い、記念セレモニーとセッションを行った。セレモニーでは、「ほっかいどう遺産 WAON」の寄附金感謝状贈呈式と、イオン北海道が、「ほっかいどう遺産 WAON」による寄附が 10 年を経過したことを記念して発行してくださった、10 年記念限定「ほっかいどう遺産 WAON」カードのお披露目を行った。記念セッションでは、これまでの北海道遺産の歩みを振り返るとともに、担い手の皆さんにもご登壇いただき未来を展望するディスカッションを行った。

《開催概要》

1. 開会挨拶 北海道遺産協議会 会長 石森 秀三
 2. 来賓ご挨拶 北海道知事 鈴木 直道 様
 3. 第 1 部 北海道遺産 20 周年セレモニー
 - 1) ほっかいどう遺産 WAON 寄附金感謝状贈呈式
 - 2) ほっかいどう遺産 WAON10 年記念カードお披露目・知事に第 1 号カードのお渡し
 - 3) ご挨拶 イオン北海道株式会社 代表取締役社長 青柳 英樹 様
 - 4) ご挨拶 株式会社伊藤園 北海道地区 営業部 地区部長 杉山 貴宏 様
 4. 第 2 部 北海道遺産 20 周年記念セッション『北海道遺産のこれまで、これから』
 - 1) 話題提供 「北海道遺産 20 年を振り返って」
NPO 法人北海道遺産協議会 理事 萩 佑
(株式会社ノーザンクロス 地域魅力創造事業部 ディレクター)
 - 2) ディスカッション
パネラー： NPO 法人ピアソン会 理事 伊藤 悟 様
夢里塾 事務局長 只野 博之 様
札幌軟石ネットワーク 事務局長 佐藤 俊義 様
AINU ARTIST ToyToy 小川 基 様
新ひだか町 総務部まちづくり推進課 課長 中村 英貴 様
コーディネータ： NPO 法人北海道遺産協議会 理事 田代 亜紀子
(北海道大学メディア・コミュニケーション研究院 准教授)
コメンテータ： NPO 法人北海道遺産協議会 理事 萩 佑
- 第 2 部総合司会：
NPO 法人北海道遺産協議会 理事 池ノ上 真一 (札幌国際大学観光学部教授)
NPO 法人北海道遺産協議会 理事 甲谷 恵
(公社)北海道交通安全推進委員会 筆頭副会長兼事務局長)

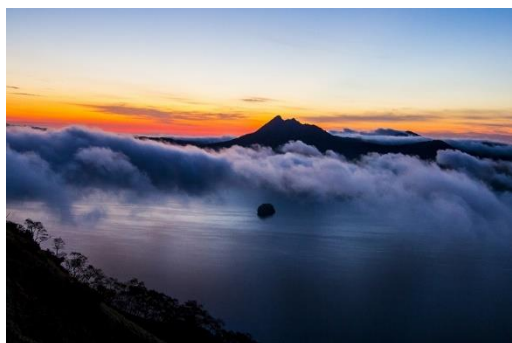


4)「北海道遺産フォトコンテスト 2021 の開催」(7月17日～9月30日)

各地の北海道遺産に足を運んでもらうきっかけづくりとして、「あなたが伝えたい北海道遺産」をテーマにしたフォトコンテストを実施した。入選作品は11月に実施した「北海道ヘリテージウィーク」で展示した。

・応募数：89名・198作品

▼グランプリ 畑端 憲行様
「摩周一刻」(摩周湖)



▼準グランプリ 永井 和子様
「石狩川霧氷」(石狩川)



▼準グランプリ 千田 一也様
「クリスマスの夜」(札幌苗穂地区の工場・記念館群)



5)「北海道遺産ヘリテージウィーク 2021 の開催」(11 月 6 日)

札幌駅前通地下歩行空間(北三条広場(西側))を会場に「北海道ヘリテージウィーク 2021」を開催した。同会場で 11 月 7 日に実施された「地域遺産 PR イベント in チカホ」(主催:北海道)と連携して展示を行い、同イベントに参加の道内日本遺産認定地の方々のパネル展示と地域の方にもブースに参加していただいた。大型モニターでは日本遺産の紹介映像の放映も行った。その他、北海道遺産 67 件パネル展示、北海道遺産フォトコンテスト 2021 入選作の展示、令和 2 年度助成活動紹介パネル展示を行った。



6)「Bunkazai Design Contest 2021の実施」(12月17日～3月31日)

文化財の新しい見え方・魅力・価値を伝えるデザイン表現によって、これからも多くの人が地域遺産に親しむことや関わりをもつきっかけになることを目指して、前年度に引き続き、日常的に使われるグッズに展開するデザインを募集した。応募作品数・応募者数ともに前年度より増加し、その中から、入賞2作品、佳作1作品、入選4作品を選出した。2022年度には、入賞作品を使ったトートバッグを制作し、会員特典として活用するほか販売を予定したい。

<Bunkazai Design Contest 2021～北海道の歴史文化を暮らしのグッズに～>

募集期間： 2021年12月17日～2022年2月15日

審査員： 伊藤千織（伊藤千織デザイン事務所/プロダクトデザイン）

照井康徳（株式会社照井康徳建築設計事務所/建築）

平塚智恵美（有限会社叶多プランニング/商品化、アートマネジメント）

野村ソウ（スタジオワンダー/グラフィックデザイン）

酒井秀治（株式会社SS計画/まちづくり、コミュニティデザイン）

萩 佑（NPO法人北海道遺産協議会）

応募総数： 50作品（前年度34作品）

入賞作品： 吉田 未玲「ハナシハナ咲ク北海道」

丸山 直美「流水観光」

佳作： 堂山 詩世「タウシュベツ川橋梁と景色」

入選作品： 富樫 直美（株式会社workup）「函館の街並み」

村上 智彦

「新巻鮭の木箱に印刷されるグラフィックを活用したトートバッグのデザイン」

北村 友莉「大地の学び」

櫻井 和則「Otaru Sea」

▼入賞作品トートバッグ・表面

左「ハナシハナ咲ク北海道」

右「流水観光」



▼入賞作品トートバッグ・裏面

左「ハナシハナ咲ク北海道」

右「流水観光」



◀1/20 投稿「『Bunkazai Design Contest 2021』作品募集中！」
(リーチ数：2279)

8)「会員特典の制作」(随時)

前年度実施した「Bunkazai Design Contest 2020」でデザインしていただいたトートバッグを制作し、会員特典として活用した。ニューズレター「北海道遺産だより」は、20周年特別号を20周年事業のひとつとして2号発行した。

9)「イベントへの参加・展示PR」(随時)

◇「北海道遺産展」(常設：札幌市・中央バス札幌ターミナル2階)

北海道中央バス株式会社のご協力をいただきターミナル2階の1室において展示ブースを設営。北海道遺産67件のパネルを展示。

◇「北海道遺産パネル展」開催

(7/28～7/29：札幌市・北海道庁1階特設展示場B)

道庁ロビーにて北海道遺産のパネル展示を実施。「北海道遺産フォトコンテスト」の2016～2019年のグランプリ・準グランプリ作品を中心に展示。ほっかいどう遺産WAON・伊藤園「お茶で北海道を美しく」キャンペーンのR02年度助成金活動パネル展示も行った。

◇「第69回全国博物館大会」ブース出展

(11/17～11/18：北海道立道民活動センターかでの2・7)

「全国博物館大会」(主催・公益財団法人日本博物館協会)にてブース出展を行った。

▼7/28-29 北海道庁1階特設展示場B
「北海道遺産パネル展」

▼11/17-18「全国博物館大会」



◆「その他のPR活動」(随時)

◇新聞・雑誌・定期刊行物などへの寄稿・協力

- ・北海道経済連合会会報誌への寄稿。
- ・ラジオ日本「めざせ北海道」への出演。
- ・中央バス車内映像広告『ぴりかる』での北海道遺産シリーズの放映。
- ・札幌市内中学校(1校)の1年生総合学習での講演。
- ・『地域遺産有効活用・人材育成研修会』(北海道総合政策部)での話題提供。
- ・札幌建築鑑賞会会報誌への寄稿。
- ・『開発こうほう』(北海道開発協会)表紙への写真提供。
- ・『2021年版 HOKKAIDO MAP 179 北海道市町村区域図』(NPO 法人日本自治アカデミー)の作成協力。

◇リーフレット・情報誌などの設置・配布

中央バス札幌ターミナル2階の北海道遺産パネル展会場などでパンフレットの設置・配布をいただいた。

◇企業・団体などによる北海道遺産の活用・紹介及び北海道遺産ロゴマークの活用

- ・全国育樹祭でのパネル掲示（北海道）
- ・『れきぶんフェス 2022』でのパネル提示（札幌市歴史文化のまちづくり推進協議会）
- ・日本ハムファイターズの『THEBRICK プロジェクト』で江別のれんがを使用することから、日本ハムファイターズ WEB ページにて北海道遺産の紹介。
- ・京王百貨店秋の大北海道展での待合スペースパネルへの北海道遺産掲示。
- ・NHK 札幌放送局による番組内（「おはよう北海道」等）での北海道遺産映像の紹介。
- ・下記書籍等の表紙・本文に北海道遺産の概要や写真等が活用された。

『北海道遺産完全ガイド』（北海道新聞社）

『CONSTRUCTION'S EYES』（株式会社札幌メディア総合研究所発行）

◆「ニュースレターの発行」（年2回）

今年度は、「北海道遺産だより」を20周年特別号として制作し、タブロイド判8ページ構成を2号発行した。※20周年記念事業の項参照

◆「北海道遺産グッズ」の販売（通年）

（3）支援のしくみの構築

◆「ほっかいどう WAON 助成活動」支援（6月～）※兼「I. 人材育成」

今年度も、2020年度ほっかいどう遺産 WAON 寄附金を活用し、遺産地域への活動助成を行った。18団体に総額700万円の助成を行った。

※助成先の活動については「資料1」：令和3年度「ほっかいどう遺産 WAON」助成活動報告参照

◆「お茶で北海道を美しくキャンペーン助成活動」支援（6月～）

今年度も、「株式会社伊藤園「お〜いお茶 お茶で北海道を美しく。」キャンペーン寄附金を活用し、特に遺産地域の自然や景観の保全活用に関する活動への助成を行った。3団体に総額80万円の助成を行った。

※助成先の活動については「資料2」：令和3年度「お〜いお茶 お茶で北海道を美しく。」キャンペーン助成活動報告参照

(4) その他事業について

◆理事会・総会の開催

今年度は新型コロナ禍での理事会、総会の運営であったが、事務局会議室とオンラインシステムを活用したハイブリッド型で行った。

○第1回理事会

◇日時 令和3年4月5日(月) 18:00~19:30

◇会場 北海道遺産協議会事務局およびオンライン会議システム Zoom

◇内容 令和2年度活動の概略報告、商標登録について、第4回選定検討 WT 会議の進捗報告、新年度事業計画について

○第2回理事会

◇日時 令和3年5月21日(金) 18:00~19:30

◇会場 北海道遺産協議会事務局およびオンライン会議システム Zoom

◇内容 令和2年度事業報告、収支決算及び監査報告、第4回選定のあり方についての提言(案)について、令和3年度事業計画(案)、及び収支予算(案)

○令和3年度 通常総会

◇日時 令和3年6月28日(月) 15:00~17:00

◇会場 北海道遺産協議会事務局およびオンライン会議システム Zoom

◇内容 令和2年度事業報告、収支決算及び監査報告、(報告) 第4回選定のあり方についての提言、令和3年度事業計画(案)、及び収支予算(案)

○第3回理事会

◇日時 令和4年2月9日(水) 18:00~20:00

◇会場 北海道遺産協議会事務局およびオンライン会議システム Zoom

◇内容 今年度事業の報告・進捗、第4回選定に関する報告・提案事項、北海道庁からの相談事項について、北海道開発局との連携について、その他

◆会員の募集

北海道遺産会員に対し引き続き継続をお願いした。

ー令和3年度 正会員・賛助会員一覧ー

◇市町村(44 会員)

雨竜町 / 中川町 / 余市町 / 登別市 / 新ひだか町 / 名寄市
別海町 / 黒松内町 / 江差町 / 松前町 / 弟子屈町 / 士別市
小清水町 / 標津町 / 中標津町 / 江別市 / 倶知安町 / 旭川市
伊達市 / 様似町 / 遠軽町 / 厚岸町 / 下川町 / 帯広市
鶴居村 / 足寄町 / 上士幌町 / 月形町 / 音更町 / 増毛町
鹿部町 / 浜中町 / 札幌市 / 標茶町 / 上富良野町 / 石狩市
函館市 / 積丹町 / 三笠市 / ニセコ町 / 音威子府村 / 稚内市
上ノ国町 / 京極町

◇団体・協会（34 会員）

砂川観光協会 / 特定非営利活動法人あしよろ観光協会 / 積丹観光協会
北海道遺産 ジンギスカン応援隊 / 一般社団法人余市観光協会
一般社団法人石狩観光協会 / 公益社団法人北海道アイヌ協会
一般財団法人道南歴史文化振興財団 / NPO 法人北海道鉄道文化保存会
公益社団法人北海道観光振興機構 / 昭和新山国際雪合戦実行委員会
認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト / 十勝川温泉旅館組合
夢里塾 / NPO 法人ダウン・ザ・テッシ / むかわ町穂別博物館
北海土地改良区 / 一般財団法人北海道歴史文化財団 / 土の博物館土の館
北海道和種馬保存協会 / NPO 法人天塩川を清流にする会
利尻しまじゅうエコミュージアム / 公益財団法人網走監獄保存財団
札幌軟石ネットワーク / NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団
北の縄文道民会議 / 石狩川下覧榴 / NPO 法人ピアソン会
NPO 法人ひがし大雪アーチ橋友の会 / 札幌村郷土記念館保存会
音更町十勝川温泉観光協会 / 公益財団法人三浦綾子記念文化財団
苗穂駅周辺まちづくり協議会 / 北海道農業協同組合中央会

◇企業・その他（10 会員）

日本清酒（株） / （株）北海道新聞社 / 北海道中央バス（株）
福山醸造（株） / 医療法人社団宮崎整形外科医院
オホーツク・ガリンコタワー（株） / サッポロビール（株）
北海道旅客鉄道（株） / 雪印メグミルク（株）
エムエムエスマンションマネジメントサービス（株）

◇役員・個人（37 会員）